



2026年4月27日

各 位

会 社 名 S B I インシュアランスグループ株式会社
 代 表 者 名 代表取締役執行役員会長兼社長 乙部 辰良
 (コード番号：7326 東証グロース市場)
 問 合 せ 先 取締役執行役員 大和田 徹
 TEL. 03-6229-0881

2026年3月期 決算速報及び期末配当予想の修正のお知らせ

当社及び当社グループの決算手続は未だ完了しておりませんが、当社株主をはじめ投資家の皆様に対して適時・適切な情報開示を積極的に行うため、当社グループの2026年3月期（2025年4月1日～2026年3月31日）の決算速報（日本基準）を下記のとおりお知らせいたします。

また、当社は、2026年1月29日に公表しました2026年3月期の期末配当予想を下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

なお、当社の2026年3月期の決算発表は2026年5月12日を予定しております。

記

1. 2026年3月期（2025年4月1日～2026年3月31日） 決算速報（日本基準）

| | 経常収益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属する当期純利益 | 1株当たり当期純利益 |
|-----------------|---------|--------|-----------------|------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想 (A) | 136,000 | 11,700 | 2,800 | 112.81 |
| 決算速報 (B) | 140,362 | 13,164 | 2,880 | 116.04 |
| 増減額 (B - A) | 4,362 | 1,464 | 80 | |
| 増減率 (%) | 3.2 | 12.5 | 2.9 | |
| 前期実績 (2025年3月期) | 118,463 | 9,474 | 1,988 | 80.12 |

2. 2026年3月期の配当予想の修正

| | 年間配当金 | | |
|-----------------|--------|-------|-------|
| | 第2四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 前回発表予想 | | 45.00 | 45.00 |
| 今回修正予想 | | 46.50 | 46.50 |
| 当期実績 | 0.00 | | |
| 前期実績 (2025年3月期) | 0.00 | 23.00 | 23.00 |

3. 修正の理由

2026年3月期の連結業績（決算速報）は、保有契約件数の堅調な増加が寄与し、前回発表予想（2026年1月29日公表）に比べ増収増益となる見通しです。2026年3月期の連結業績につきましては、次ページ以降をご参照ください。

配当につきましては、連結配当性向40%程度を目安とする配当方針に基づき、今回の決算速報値を踏まえ、2026年3月期の期末配当予想を増額修正することといたしました。なお、上記の決算速報値及び期末配当予想を反映した場合の2026年3月期連結配当性向は、40.1%となる見込みです。

<2026年3月期（2025年4月1日～2026年3月31日） 決算速報（日本基準）>

2026年3月期における当社グループの経営成績の見通しは次のとおりであります。なお、経常収益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益及び1株当たり当期純利益のいずれも過去最高を更新する見込みです。

| | (ご参考) 前年度実績 | 2026年3月期 決算速報 | 対前期 増減額 | 対前期 増減率 |
|-----------------|----------------|------------------|------------|------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | % |
| 経常収益 | 118,463 | 140,362 | 21,898 | 18.5 |
| 経常利益 | 9,474 | 13,164 | 3,690 | 39.0 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 1,988 | 2,880 | 891 | 44.8 |
| 1株当たり当期純利益 | 80円12銭 | 116円04銭 | | |

経常収益は、すべての事業における保有契約件数の堅調な増加が寄与し、前年度に比べ21,898百万円増加の140,362百万円（前年度比18.5%増加）となる見込みです。この増収効果に加え、継続的な業務効率化による利益率の改善もあり、経常利益は前年度比3,690百万円増加し、13,164百万円（同39.0%増加）となる見通しです。また、親会社株主に帰属する当期純利益は、税金費用の増加があったものの、増収及び効率化効果はその影響を吸収し、前年度比891百万円増加の2,880百万円（同44.8%増加）となる見込みです。

セグメントごとの経営成績の見通しは次のとおりであります。

| | 経常収益 | | | セグメント利益 (親会社株主に帰属する当期純利益) | | |
|--------------|----------|----------|------------|------------------------------|----------|------------|
| | 2025年3月期 | 2026年3月期 | 対前期 増減率 | 2025年3月期 | 2026年3月期 | 対前期 増減率 |
| | 百万円 | 百万円 | % | 百万円 | 百万円 | % |
| 損害保険事業 | 40,436 | 46,819 | 15.8 | 1,552 | 2,015 | 29.8 |
| 生命保険事業 | 44,383 | 57,705 | 30.0 | 807 | 975 | 20.8 |
| 少額短期保険事業 | 33,849 | 36,004 | 6.4 | 230 | 656 | 184.3 |
| 報告セグメント計 | 118,669 | 140,529 | 18.4 | 2,591 | 3,647 | 40.8 |
| セグメント間消去又は調整 | △205 | △166 | — | △602 | △767 | — |
| 連結損益計算書計上額 | 118,463 | 140,362 | 18.5 | 1,988 | 2,880 | 44.8 |

(注) セグメント利益の「セグメント間消去又は調整」は、当社の一般管理費等による損益であります。

(損害保険事業)

2026年3月末の保有契約件数（団体がん保険の被保険者数を含む）は1,397千件（前年度末比5.5%増加）となりました。

経常収益は、保有契約件数の堅調な増加に伴う保険料収入の増加などにより、前年度比15.8%増加の46,819百万円となる見込みです。セグメント利益は、税金費用が増加（※）したものの、着実な増収効果はその影響を吸収し、前年度比29.8%増加の2,015百万円となる見通しです。

(※) 前年度は一時的に繰延税金資産を計上した影響で税金費用が低く抑えられていましたが、当年度はその影響がなくなったため、税金費用が増加しています。

(生命保険事業)

2026年3月末の保有契約件数（団体信用生命保険の被保険者数を含む）は725千件（前年度末比15.6%増加）となりました。

経常収益は、保有契約件数の順調な増加に伴う保険料収入の増加などにより、前年度比30.0%増加の57,705百万円となる見通しです。セグメント利益は、前年度のような一過性の増益要因（※）はないものの、着実な増収効果により、前年度比20.8%増加の975百万円となる見込みです。

(※) 前年度には非上場株式の売却益等を計上していました。

(少額短期保険事業)

2026年3月末の保有契約件数は1,054千件（前年度末比1.3%増加）となりました。

経常収益は、保有契約件数の堅調な増加に伴う保険料収入の増加などにより、前年度比6.4%増加の36,004百万円となる見込みです。セグメント利益は、この増収効果により、前年度比184.3%増加の656百万円となる見通しです。

上記の2026年3月期の決算速報に記載されている情報は、本資料発表日現在において入手可能な情報を元に作成した速報値であり、確定値ではありません。2026年5月12日に発表を予定しております2026年3月期（2025年4月1日～2026年3月31日）の決算数値は、様々な要因により、本速報値と異なる可能性があります。

以 上